



今年ももう押し迫ってきた。えっ、またセリ？ という感じがするのは、昨年の馬インフルエンザ騒ぎで、オーストラリアのマジックミリオンズセールが3月に、シドニーのイースターセールが4月に移動して開催されたせいである。今年の結果は、両方のセリともに好調ではあったが、その後、世界は深刻な金融恐慌に陥ってしまった。一体来年のマジックミリオンズのセリはどうなるのであるか。デヴィッド・チェスター社長に聞いてみた。「残念ながら、予想はよくない。今年のセリ結果の20%から30%は下がるのではないだろうか」と語った。「しかし、金融恐慌以来、オーストラリアドルが日本円に対してかなり下がっている。これも考慮すれば、恐らく、日本の人々には、昨年の50%減の価格なので、数多く買っていただけるかも知れない」と、苦しいのか、嬉しいのか分からない返事であった。

デジタル化されたセリ名簿

マジックミリオンズセールは、今年、“世界初”のオンライン・Eカタログ（セリ名簿）を発表した。このEカタログは、オンラインで自分だけのセリ名簿が出来るのである。例えば、バイヤーが、エンコスタデラゴの牡馬、しかもクールモア牧場が上場したものだけを希望しているとすると、このカタログの最初のページで、その条件をインプットすると、必要な馬番のリストがあつという間に出てきて、それらの番号をめぐると、次々とセリ名簿が、出版されたものと同じ形で出てくる。もちろん、自分が必要なところをプリントすれば、セリには、それだけ持って出かければいいので、全部のセリ名簿を初めから終わりまでめくる必要がない。もう少し例を出すと、例えば、ロックオブジブラルタルの牝馬で、しかも早生まれの牝馬だけを探したいと思えば、それも出来る。条件の中に、何月生まれ、あるいは何月から何月までという条件をク

リックすればいいだけだ。希望する馬のリストが出来ると、今度は、ウェブ上で本をめくるように、カタログを閲覧することが出来る。私も使ってみたが、あまりデジタル化していないオパサンでも、簡単に使えた。来年のマジックミリオンズのセリ名簿はセッションごとに分けたので、今年のように重くはないが、それでも、自分に必要な情報をこれだけ早く入手できるのは、忙しい人々にとってチョー朗報ではないだろうか。話の種に、ぜひ体験してみるといい。世の中は本当に進んでいると驚くはずだ。 www.magicmillions.com.au

彼らのライバルであるイングリッシュ社は、オンライン・ビディングを始めたし、オーストラリアのセリは他ならぬデジタルウォーズ。しかしそうしていかないと、競馬の世界以外の人々となつなることができない。というよりは、競馬や生産の世界が、日本のように競馬サークルと言われる閉鎖的なものでなく、外の世界となつなっている人たちが生産や競馬に携わっているからだと

いうこともいえる。上場する各牧場も、宣伝に魅力的なウェブを利用する。世界中の客となつなることができる。しかし、日本に目を向ければ、ほとんどそのような動きは見られない。外国人に馬を買って欲しいといいながら、英語のウェブもない牧場がほとんどである。この場を

借りて、日本の生産界のデジタル化を促したい。

リダウツチョイス

さて、本題に話をもどそう。アジア競馬会議でも言われていたように、金融恐慌はもろにサラブレッド生産に打撃を与えようと思う。しかし、一ついいことがあるとすれば……と言えば、それは、近年高騰を続けた種付け料の下落であるとNZブラッドストックの人は言っていた。オーストラリアで最も種付け料が高いといえば、リダウツチョイス33万ドルだが、2007年8月から2008年7月末までのリーディングサイアーのランキングでは、前年の3位から10位に落ちている。今年8月からのシーズンにおいては、歴史的なチャンピオン馬との呼び声が高い、産駒の3歳牝馬サマンサミスが大活躍しているので、2位に付けているものの、高い種付け料の分だけ、セリで結果を出すのかどうか興味深いところだ。26頭が上場されている。上場リストを見ると、牝馬の質がグリーンと高い。中でも、グループレースを8勝している名牝ヴィクトリーヴェインを母に持つ牝馬は、ストロベリーヒルスタッドから出されている。ストロベリーヒルスタッドには、凄腕の牝馬が数多くいるのだ。アンアースリーは、ザビールを父に持つ牝馬でG I 優勝馬である。今回は、クールモア牧場から、このアンアースリーから生まれたリダウツチョイスの牝馬が上場された。前述、サマンサミスの影響と、不景気の時の“保険”として、上記の牝馬たちは、かなりの金額になるに違いない。高いといえば、今年3月のマジックミリオンズセールでは、パティナックファームが、リダウツチョイスの牡駒、母レディカペルと、母ジプシーダンサーを、それぞれ220万ドルで競り落とし、それが、今年のマジックミリオンズセール最高価格となった。

エンコスタデラゴ

2007/2008シーズンのリーディングサイアーは、エンコスタデラゴ。エンコスタデラゴは、前年リーディングの2位で、ここ数年ランキング3位以内をはずしたことがない。今年も、昨年G I マッキノンスタークスを勝ったスミオーネが引き続き健闘しており、同じく、エンコスタデラゴ産駒で、かつてショワジュールを管理したポール・ペリー調教師の期待のニューポートもいる。ロッセリアは、リダウツチョイス産駒であるが、2005/2006シーズンのオーストラリアンクラシフィケーションで4歳以上牝馬の2位になった牝馬だ。来年は、このロッセリアのおいで、エンコスタデラゴのイヤリングがパラムルスタッドから上場されている。エンコスタデラゴが繁養されているクールモア牧場からは、チャンピオン馬



マジックミリオンズセール出身馬で、今年ゴールデンスリッパースに優勝したシブリング

レーシングトゥウインの全兄弟が出されており、今回のセリの目玉になっている。もしかして、これが、最高価格かも知れない。この他では、クインズランドオクス馬ガリアの牝馬、また、オーストラリアンオクス馬サンデージョイの牝馬が、ストロベリーヒルスタッドからの上場馬。これらも最高価格候補である。

モアザンレディ

2歳レースとしては世界で最高額の賞金を誇るゴールデンズリッパーステークス。今年は、来年からウイデン牧場で種牡馬になることが決まったシブリングが優勝した。シブリングは、マジックミリオンズセールにおいて、わずか13万ドルで買われた馬で、最近9年間にマジックミリオンズセールから出た6頭目のゴールデンズリッパー優勝馬となった。父のモアザンレディは、ヴァイナリースタッドに繋養されており、昨シーズンのリーディングサイアー2位になっている。したがって、今回のマジックミリオンズでも人気が出ることは必至。例えば、ノーザリーの姉ノーザンソングの牡馬、GIを3勝しているシャメイカの近親、ベントリービスケットやソーンパークなどチャンピオン馬の近親である牡馬なども、将来の種牡馬として人気を得るに違いない。マジックミリオンズセールの出身馬は、今年11月に大活躍をした。前述シブリングを管理するゲイ・ウオーターハウス調教師の管理馬で、テシオが、GIマッキノステークスで優勝した。このレースは、2着馬がパーバリカス、3着が昨年の覇者スミオーネで、3頭ともマジックミリオンズセールの出身馬である。1着のテシオは、シブリングと同じく、スターサラブレッドという共同馬主の会社がわずか12万ドルで落札。エミレーツパークスタッドの生産馬で、デインウインの産駒である。来年のマジックミリオンズセールには、その半弟が上場された。父は、エミレーツパークで繋養されている、リダウツチョイスのGⅢ優勝馬、アルサマー。このエミレーツパークでは、GI優勝馬アズーロを母に持つフサイチペガサスの牡馬も上場している。2年前のリーディングサイアーだったフライングスパーは、昨シーズンは3位であった。香港で大活躍したグランドデライト(オーストラリア名、デザートイーグル)の近親馬であるフライングスパーの牝馬、名ブルードメアのミスティヴェインを祖母に持つ牡馬も上場されたが、何といても注目されるのは、ウイークエンドハスラーを近親に持つフライングスパーの牝馬である。

ハズネット・レッドランサム・ デインヒルダンサー

昨シーズン、その産駒ウイークエンドハ

今年のマジックミリオンズセールにおいて、最高価格で取り引きされた牡駒
(リダウツチョイス×ジブシーダンサー)



年明のセールでは高額での取り引きが予想される、リダウツチョイスの牝駒。母は名牝ヴィクトリーヴェイン

スラーが大活躍しているハズネットは、今年度のマジックミリオンズでも相変わらず人気が高いと思われる。中でも注目されるのが、ゴールデンズリッパー優勝馬ハハの3/4弟や、オーストラリアを代表する繁殖牝馬の1頭であるシングルズバーを祖母に持つ牝馬などである。

さて、日本の人々に関心の高いのは何と言ってもレッドランサムだろう。これまで南北両半球でシャトルされていたが、来年からはオーストラリアを終の棲家になることになった。セールには、レッドランサムのイヤリングが6頭上場されている。レッドランサム産駒で最も活躍した馬の1頭が、チャージフォーワードで、現在種牡馬になっているが、この中には、その3/4きょうだいもいる。他にもノーザンドレックなどの近親の牡馬、2代目にブラックタイプが“わんさか”いる牝馬などが上場された。

デインヒルダンサーは地味だが相変わらず人気がある。リーディングランキングでもリダウツチョイスを抜いて9位に入っている。セールには、このデインヒルダンサー産駒が、20頭出された。ナンと言ってもトップは、VRCオクス馬アーボリアの牝馬である。良血と言え、16勝しているアジアインクラインの牝馬も負けていない。牡馬では、エクシードアンドエクセルの近親馬、MRCフューチュリティSの勝ち馬であるアクアダモールの3/4きょうだい注目されるだろう。

オーストラリアっぽい馬と私のお勧め

今年3月に美浦トレーニングセンターの若手調教師の方々が、マジックミリオンズのセリ場を訪れていた。彼らの感想を聞くと、「日本には知られていないが、“オーストラリアっぽい馬”たちがとても魅力的だ」と言っていた。ものすごく“オーストラリアっぽい馬”というのは、例えば、クインズランド州のグレンローガンスタッドで繋養されている、オーストラリアのチャンピオンズプリンター・マイラー、ショウアハートがそれである。現在、この牝駒で2007年のマジックミリオンズクラシックの優勝馬ミミルブロックが活躍している。優勝後

は1年間伸び悩んだが、今年に入って重賞レースを次々と制覇した。わずか17万ドルの買い物だったミミルブロックは、今年メルボルンカップを勝ったレジェンド、パート・カミングス調教師の管理馬である。ショウアハート産駒は今回20頭上場されている。更に、“オーストラリアっぽい馬”というのは、ファルヴェロンだろうか。グレンローガンスタッドの繋養馬で、香港スプリントに勝っているの、覚えている方もいるかも知れない。

私の、完全なる趣味で言えば、ゴッズオウン産駒などを、日本に持って行ってもらいたい。ゴッズオウンは、パート・カミングス調教師が調教して、有名なオーナー、ダトー・タン・チン・ナム氏が持っていた、リダウツチョイス産駒のスプリンター・マイラーである。余談だが、メルボルンカップの優勝馬ヴェードのコンビでもある。故障ですぐ引退してしまったが、2005/2006シーズンの3歳クラシフィケーションのトップ馬でもあった。今回、このゴッズオウンの初年度産駒が出されている。それから、ファーストシーズンサイアーとして、アメリカでも走っていたサンデーサイレンス産駒のキープザフェイスや、やはりアメリカからシャトルされてきたサザンイメージ産駒もいる。

かつて、デインヒルが多くの息子たちを種牡馬にしたように、リダウツチョイスの息子たちが、続々とファーストシーズンサイアーとしてイヤリングを上場させている。この息子たちのどの種牡馬たちが、将来のリダウツチョイス血統を継ぐことになるのだろうか。

筆者●プロフィール



Mariko Hyland ■ 団塊の世代。アナウンサー、コピーライターなどを経る。著書に「オーストラリアとニュージーランドの競馬ガイドブック」など。オーストラリア人の夫、2人の娘とシドニー在住。